

# 北海道運輸局管内における離島航路の在り方に関する調査等業務 実施概要

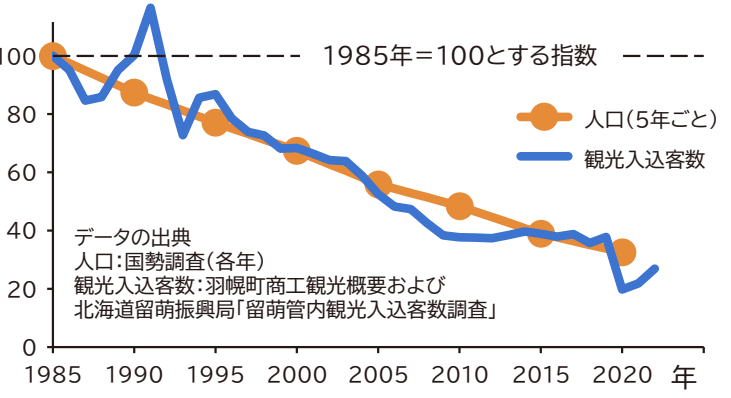
## 業務の背景

- 天売島・焼尻島では人口減少・高齢化が進み、観光事業者の減少も進んでいる
- 住民のみでは航路の維持が難しく、観光客の利用促進によって航路を維持・活性化することが求められている

## 業務の目的

- 利用者のニーズや交通・観光事業者の課題を整理し、航路の活性化につながる施策を検討・提言する
- 北海道運輸局管内の離島航路の在り方につながる方向性を検討する

天売島・焼尻島の人口と観光入込客数の推移



## 調査結果

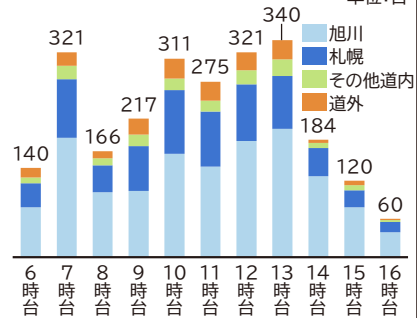
### <主な結果>

- アンケート回答者の9割が車で羽幌港を訪れているが、バスと連携したアイデアを提示したところ「何があってもバスを利用しないと思う」と答えた方は2割未満と、バスとフェリーの連携により公共交通の利用が促進される可能性がうかがえた
- 観光客のニーズとして、お土産や島の産物が食べられる飲食店等の充実が求められている
- フェリーを利用しない方も羽幌港に多く訪れている
- 島内事業者へのヒアリングでは、人口減少・高齢化を実感しており、新しいことに取り組む余裕がないという意見が目立った

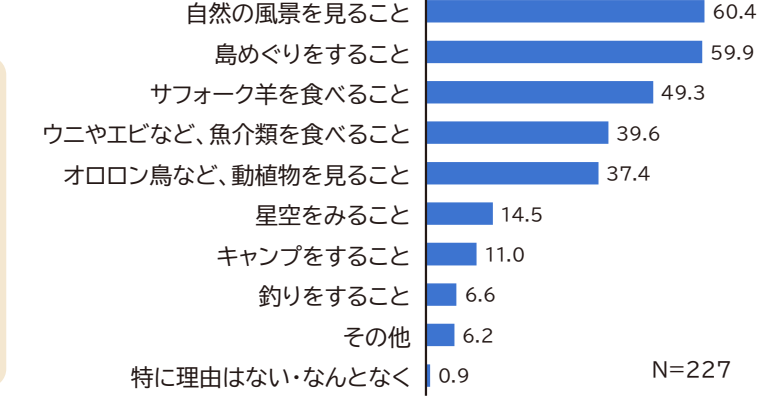
### 実施した調査

- フェリー利用者へのアンケート(8月5日~31日) (来訪の目的、満足度、感想・要望など)
- 羽幌港駐車場の実地調査(8月10~16日) (来訪者の居住地域、車両の種類など)
- ヒアリング調査 (各事業者の現状・課題、離島航路への要望など)
- 机上調査 (行政の計画、輸送実績等のデータなど)

羽幌港駐車場に入場した車両の台数 (2023/8/10~16日) 単位:台



来訪目的(複数選択)※観光目的の方が対象 単位:%



## 施策の方向性

目指すこと	現状・課題	目指す方向性	短期的な施策案	中長期的な施策案
離島航路の維持・活性化に向けた力を集約するための体制をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 島の人口減少・観光客の減少が進んでおり、航路維持のアイデアや、新たな担い手が求められている</li> <li>● 高齢化が進む中で、島内事業者の継承が難しくなっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 離島航路に関する様々な関係者が協力しあうことで、今回の施策の実現を含む島の活性化に取り組む体制を強化する</li> <li>● 島外の離島ファンの巻き込みも検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今回のWGメンバーによる話し合いの場の維持</li> <li>● WGメンバー各社の若手が集まる場の定期的な開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 島民・町民や、町外の方など、一般の方の中からも賛同いただける方を集め、組織化</li> </ul>
自然豊かな島の魅力を発信し、保全に係る努力に共感を集める	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海鳥の島として保全活動が行われており、鳥好きや島好きが訪れるきっかけになっている</li> <li>● 生態系の保全は島民の協力が不可欠であり、人口減少下で保全体制の維持が困難になると予想される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 島の自然の楽しみ方を発信し、島旅に慣れていない方を誘客するとともに、満足度を高める</li> <li>● 島の自然の希少性を発信し、保全活動に目を向けてもらうきっかけを作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● モデルコースの作成</li> <li>● 羽幌シーバードフレンドリー推進協議会との連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 散策ルートの整備・発信強化</li> <li>● 保全協力金・募金の実施・活用</li> <li>● 羽幌町内での島の情報発信や島との交流を強化</li> </ul>
島の「ベースキャンプ」としてフェリーターミナルを位置づけ、船に乗らない方にも魅力を伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フェリーに乗らない方も、羽幌港を多く訪れており、お土産や観光案内のニーズがある</li> <li>● 島の魅力である自然資源は、馴染みのない方には楽しみ方がわかりづらく、島に渡る前に知る機会が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 羽幌港フェリーターミナルで島に関する情報を伝えたり、必要な備品等を貸し出したりすることで、島に渡った際の満足度を高めるとともに、お土産購入などの消費を促す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 羽幌港フェリーターミナルの掲示物を整理し、海鳥や動植物の写真を掲示 (アウトドア用品のレンタル)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 羽幌港フェリーターミナルの観光案内・物販機能に関する発信を強化(道の駅に並ぶ観光の拠点と位置付ける)</li> </ul>
情報の整理・見せ方の改善によって、はじめての方にもフェリーを親しみやすくする	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フェリーターミナルや船内の情報がわかりづらい</li> <li>● フェリーに馴染みがない方にとって、情報のわかりづらさが島に行く障壁となっている可能性がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 来訪前に、島へのアクセスやフェリーの利用方法を発信することで、島に行く心理的なハードルを下げるとともに、窓口での対応を減らす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フェリーの乗り方を写真+文で解説 (SNSによる情報発信を強化)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● キャッシュレス化・オープンデータ化等による、業務効率化とサービス改善の両立</li> </ul>